

No.01

2020年10月14日

平和で安心安全に暮らせる阿武町  
海も空も野も豊かなまま 子や孫に渡したい  
**風力発電、大丈夫？**

発行・阿武風力発電所建設を考える会

・平和を願う福賀の会

(代表:飯田広 090-6930-9556)

編集・連絡 安藤公門(080-6331-0960)

私たちの不安と疑問～関係者の皆さまへ～

## 低周波音・超低周波音による 健康被害について

風力発電の周辺では、地域により人数に違いはありますが、健康被害が明らかに起こっています。阿武町風力発電計画が推進され風車がたち、風車の回転が始まり、そこで健康被害が起きた場合、関係者におかれては、調査と補償を当然行うべきと考えますが、以下の疑問があります。

**1、日本や世界の調査とデータをもって設置計画を立案しているのか。** そうであれば、その全容を示してほしい。

**2、健康被害に対する対策と補償は、どのようなものか？**

周辺地域では、防音工事などで防音騒音対策をとっているが、それでも睡眠障害をはじめさまざまな被害が起こっている。引っ越しを余儀なくされている人もいる。どのように対策と補償をされるのか、してきたのか。子どもたちが帰ってこれなくなる責任はどうとるのか。

**3、健康被害が起こった場合、責任者は誰になるのか。** 誰が住民や当該被害者に責任をもって対応するのか？ ① 日立サステイナブル株式会社 ② 阿武町役場を含む土地の貸し手(地主)なのか ③ 監督官庁(国、県、町など)なのか。

以上について明確な回答をお願いします。

# 風力発電と健康被害

## 武田恵世氏(9月20日 益田市)講演会から

風力発電は、実質環境保全に貢献していないばかりか、設置時の道路拡幅工事、山容の変形、残土の処理など多くの自然生態系の破壊が指摘されています。動植物にとって大きな影響を及ぼします。また、人間にとっては、周辺で暮らす人々の健康被害の原因となります。9月20日に行われた三重県で問題を指摘され続けている武田恵世先生(歯科医)の益田市での講演会の文字起こしの一部です。詳細は、インターネットなどでご確認ください。近日、動画を見る会などを行う予定です。(要約・文責 浅野容子)

~~~~~

**【山間部の被害の特徴】**として騒音、低周波音は雲があると雲に反射して谷底に届く。山があると山びこのように反射して増幅したりする。当然直線的にも届くが、谷底の人はたまらない。

**【健康被害について】**健康被害にあった故谷口愛子さん(当時70歳、和歌山県由良町の自宅から1.3kmに1990kwの風車があった)。辛いときは夜、数キロ離れたコンビニの駐車場まで行って寝ていた。

按摩さんは「ここに来ると何か恐ろしいような異様な感覚がある」と言っていた(視覚障害者は視覚以外の感覚に敏感)。谷口さんのご近所の方々「この辛さはなんぼ言うても経験せんとわかってもらえへんのや。あんた、よそで話して被害を出さんようにするんやなしに、被害を受ける人がもっと増えるように黙るとき」→被害経験者を増やさない、被害がわかってもらえないと訴え。

**【重低音・低周波音被害の特徴 被害者の証言(2000kw)】**

- ・生まれた時から溪流の横に住んでいて溪流の音や滝の音は気にならないが風車の音はたまらん(1.2km)
- ・年を取って耳は聞こえなくなってきたが風車の音だけはこたえる(1.2km) 老人は重低音、低周波に敏感に反応。・国道と線路の横に家があって、その音は気にならんし一時やが、風車の音はずっとで辛い(1.5km)
- ・恐ろしい音が地面から柱を伝って入ってくる(2km)

**【睡眠障害の原因】**

牛山泉足利工業大学教授(風力発電が専門)著の『風力発電読本』オーム社2005年刊

「風力発電機の騒音が木擦音にマスキングされる程度の場合でも、風力発電機の騒音は木擦れ音の変化に比べると変化が小さいので、木擦音と風力発電の音が交互に入れ替わるような異質な騒音が形成され、その程度が重大な場合には睡眠障害にまで発展することがある」風車の騒音は小さくてもこたえるようだ。

**【風力発電機による健康被害の特徴】**

世界中で風力発電機から同じような距離の人たちがほぼ同じ症状を訴えている。

共通する症状は：睡眠障害、睡眠遮断、頭痛、耳鳴り、耳閉感、動揺性めまい、回転性めまい、吐き気、かすみ目、頻拍、イライラ、集中力、記憶力の異常、ストレス、吐き気、様々な胃障害、耳鳴り、高血圧症、心臓血管の病気、そして覚醒時もしくは睡眠時に生じる身体内部の振動感覚、もしくは動揺感覚に伴うパニック発作など、早い話が不眠と船酔いに似た症状。病名は「振動音響病」、「風力発電機症候群」

原因としては低周波音、超低周波音、聞こえないが共鳴振動を起こす。

**【低周波音の特徴】**

・遠くまで届く。壁では防げず、ガラスでも防げず、しかも共鳴振動しやすい。部屋全体、天戸ふすまが鳴り出すことがある(共鳴振動) 寝室で寝ると辛い、広間だとましという証言あり。私がつらいときは金魚が斜めになっている。★低周波音は聞こえないが内耳に影響を与えており、聴覚障害を起こす可能性が高い。